

EMPOWERING!

人も企業も地域もつなぐ。

共助コミュニティの力で地域課題を解決！！ 持続可能な、地域主導型共助コミュニティモデル



株式会社AsMama



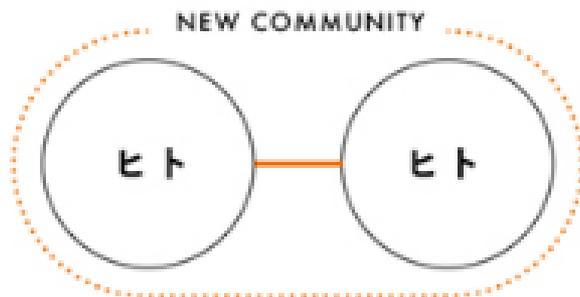
AsMama 事業イメージ



共助コミュニティの力で、課題を解決！！

AsMama は、自治体と企業と人を、全国で連携する地域活動家・団体とICTの仕組みの両輪でつなぎ共助・共生コミュニティを形成することでそれぞれの課題解決および価値向上を事業としています。

コミュニティ「創生」事業



「ヒト」と「ヒト」をつなぐ



「ヒト」と「企業や自治体」をつなぐ

私たちは、コミュニティを
「つくる」お手伝いをします。

地域に住まう人々や、活動団体、企業、
遊休地の持つ価値を発掘・育成し、
様々なステークホルダーと連携しながら、
住人の交流機会を提供します。

専用アプリ「子育てシェア」(登録会員数7万人以上)
を活用し、オフラインとオンラインの
両軸で頼り合いがうまれる、
『共に助け合うことのできるコミュニティ』を
つくっていきます。

地域ごとのコミュニティを創生し、 コミュニティを活用する事業を実装するプロセス

*自立自走した
持続可能な
共助社会の実現*



出生率向上・転入促進

企業の人材獲得、PR、集客、マーケティング

地域経済活性化

地域活性化
関係人口増加

地域人材の活躍

地域情報の一元化

多企業と協働した
プロジェクトの実施

遊休地を活用した
地域交流機会の創出

地域の担い手・
コミュニティリーダーを
募集・育成
(既存プレイヤーとの連携)

地域・企業ごとの
共助コミュニティ
アプリの設定

ニーズ
の把握



全国に
1000名超

人と人、人と企業と地域をつなぐカギは 地域ごとのコミュニティの担い手「シェア・コンシェルジュ」

つたえる活動



AsMamaのこと&生活に役立つ企業や自治体、団体等の情報等を伝える
(口コミ・チラシ・SNS等)

つなぐ活動



交流イベントを開催・運営し、人・企業・団体・自治体等をリアルにつなぐ
(自主交流会の企画運営等)

あずかる活動



ICTを活用して、子どもの送迎・託児をシェア
(積極的な支援意思表示)

託児認定は
応募の10%

充実・安心の
認定研修

応募

事業
理解

本人
確認

つたえる研修

情報発信リテラシー
ロールプレイング
(研修約2時間)

つなぐ研修

交流会運営基礎
コミュニケーションマナー
ビジネスマナー
(事前学習+研修2時間)

あずかる研修

座学(5時間)
普通救命講習実技(2時間)
実習(1日程度)

追加研修で
キャリアアップ

AsMamaは、リアルな出会いを、 世界初、地域の知人同士で子育てや生活を保険付で共助する 「子育てシェア」 & 「“専用” ICTプラットフォーム」アプリで繋がります

1. 基本機能（個人間利用）

モノ、コト、送迎・託児をシェア

登録料・手数料0円。保険完備で安心安全な頼り合いを促進します。

頼りたいを発信



子育てシェア

是非どうぞ!を発信



依頼内容

- 預かって 送迎・同室含む
- 貸して
- 譲って
- 誘って ご飯・お出かけ等

提案内容

- 預かるよ 送迎・同室含む
- 貸すよ
- 譲るよ
- お誘い ご飯・お出かけ等

預かって／預かるよ
本当の知り合いだから安心。
子どもにとっても、信頼できる大人やお友達家族と過ごす“最幸”の成長機会に。

貸して・譲って／貸すよ・譲るよ
おさがりやおすそわけを発信。「ありがとう」の気持ちとともに、お互いの心が通うコミュニケーションの種に。

誘って／お誘い
ランチや公園へのお出かけを「一緒にいかが?」と気軽にお誘い。ご近所同士、家族ぐるみの緩やかなおつきあいをサポート。

2. コミュニティ機能（自治体・企業協働モデル）



オリジナルの共助メニューに変更OK!
暮らしの疑問質問、困りごとは住人同士で解決

集合住宅や自治体ごとの
コミュニティ創生を支援

メンバー同士で頼り合いや情報交換
託児ニーズ解決、コミュニティ価値向上
「自分も何かしてみたい」をサポート
一人一人の自己実現、住民主導型コミュニティへ



“専用” プラットフォームの設定・実装

地域住民のQoL向上



コミュニティによる価値向上



自治体・集合住宅・商業施設と周辺住人等への共助コミュニティ形成を支援

オリジナルの共助メニューに変更OK!

暮らしの疑問質問、困りごとは住人同士で解決

メンバー同士で頼り合いや情報交換

託児ニーズ解決、コミュニティ価値向上

「自分も何かしてみたい」をサポート

一人一人の自己実現、住民主導型コミュニティへ



提供する機能

メンバー同士の情報交換
掲示板機能

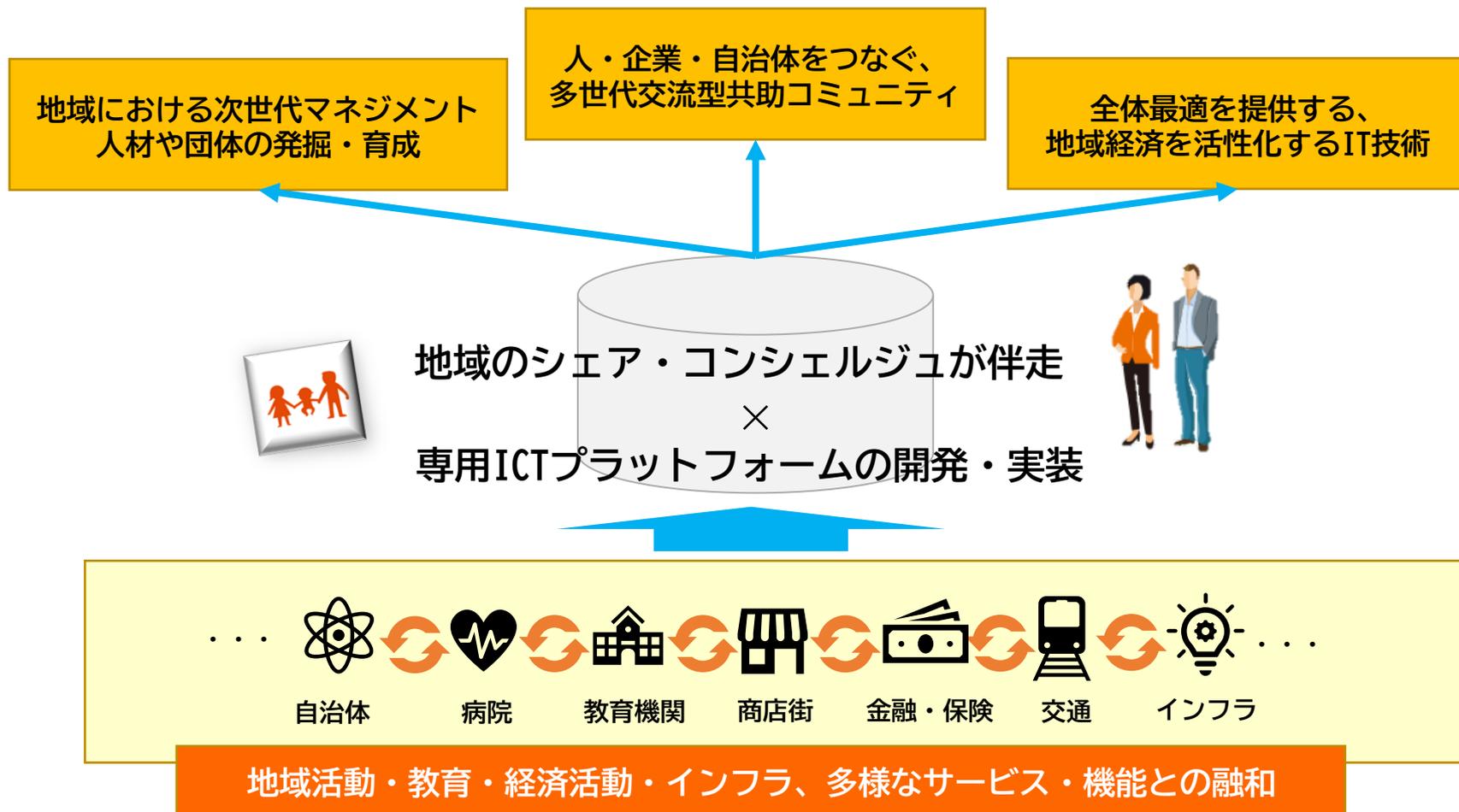
管理人からの
情報発信機能

仲間づくり・イベント企画も
サブコミュニティ機能

コミュニティ専属の
シェア・コンシェルジュ

メンバー同士の共助
3つのシェア機能

持続可能な、地域主導型共助コミュニティモデル



AsMama×コミュニティ形成による課題解決の実績

子育て世帯の流入増・流出減、出生率向上による子どもが安心して育つ居場所のある街『産み・育て・働きやすい街の基盤づくり』だけが地域の人口減少の唯一の方法です！



自治体連携事例

- 埼玉県浦和美園：「子育て世帯純増地域における多様な託児環境の整備」
- 富山県舟橋村：「関係人口増→移住・定住・出生率向上と子育て世帯増による人口増」
- 奈良県三宅町：「シェアリングエコノミーの訴求と町内個人や団体の自己実現支援」



商業施設連携事例

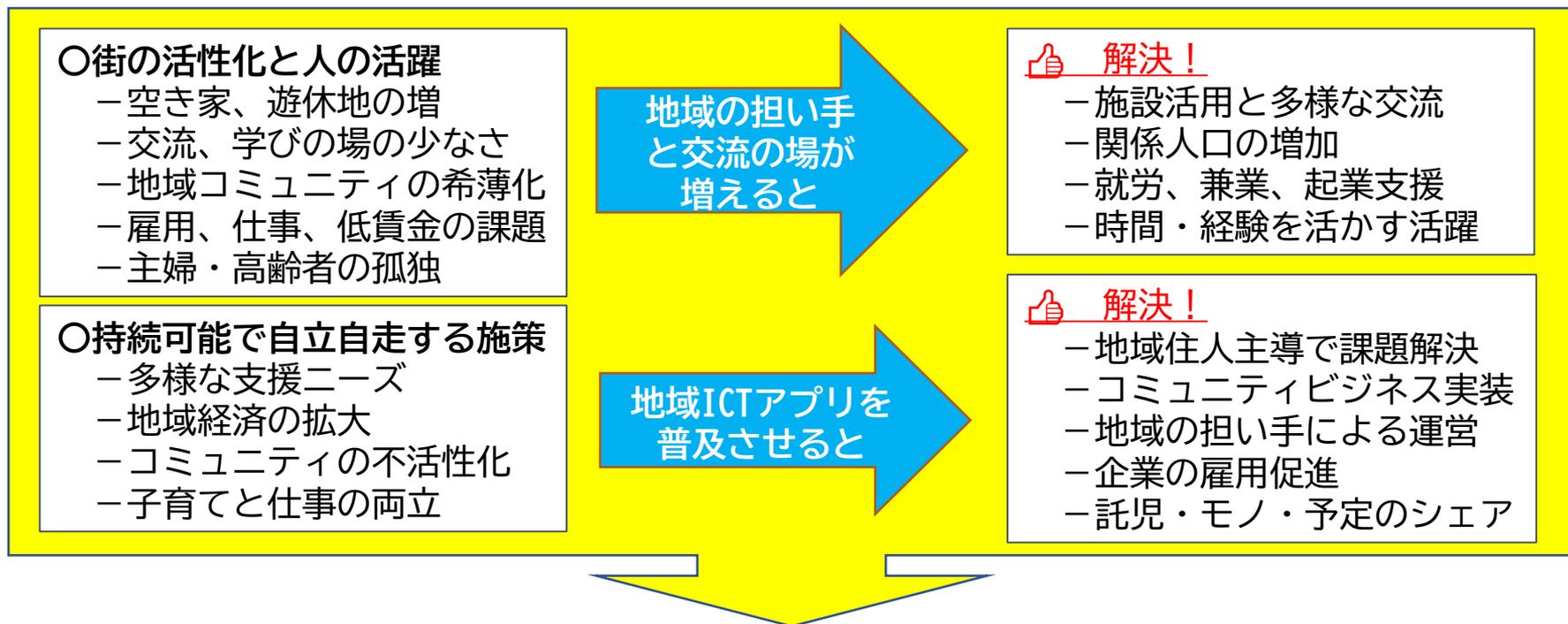
- バルク： 「知人間共助アプリ「子育てシェア」の利用促進による、従業員及び子育て期社員の活躍支援」
- MARK IS静岡： 「まちと共に成長し、人々に長く愛されつづける場づくり」



不動産連携事例

- UR団地： 「遊休施設を活用して地域住人や団地住人の自己実現と多世代交流の場づくり」
- 三菱地所： 「子育てをしやすい共助マンションコミュニティの形成」

社会課題を解決する、多世代交流型共助コミュニティ

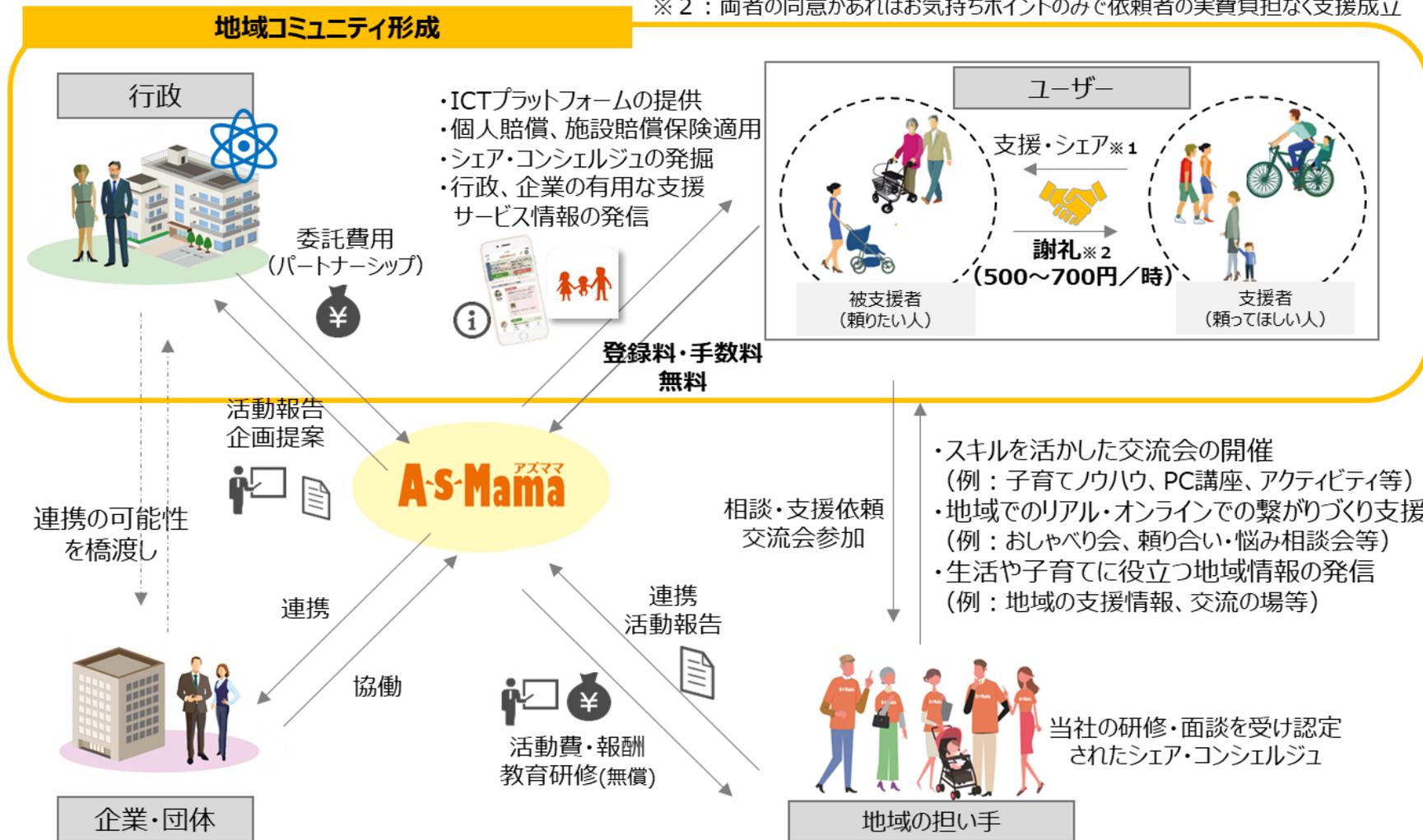


リアル（地域の担い手・交流の場作り）とICTプラットフォームで地域課題を解決

子育て世帯の流入増・流出減、出生率向上による子どもが安心して育つ居場所のある街『産み・育て・働きやすい街の基盤づくり』だけが地域の人口減少の唯一の方法！

AsMamaの、持続可能な、地域主導型共助コミュニティモデル

※ 1 : モノ・コト(予定) のシェア、託児や送迎の頼り合い
 ※ 2 : 両者の同意があればお気持ちポイントのみで依頼者の実費負担なく支援成立



自立自走する共助コミュニティ創出までの流れ

地域支援者（シェア・コンシェルジュ）の募集・育成

シェア・コンシェルジュによる自主交流会開催の支援

企業協働拡大による地域活性

コスト

コミュニティの活性

3～5年をかけて自立自走させることで、以降、育成・管理費用は低コストになり、地域コミュニティが発達するほどに企業の資金が流入していくことで経済も発展

教育と日本型ワーケーションの融合先進モデル「アカデミア」型人材育成拠点

1. 団体名	株式会社ソフィアコミュニケーションズ 株式会社せいかいをつなぐ	2. 連携先の団体	・青山学院ヒューマン・イノベーション・コンサルティング株式会社（青学ハイコン） ・青山学院大学SDG s 人材開発パートナーシップ研究所
3. 取組目的	地域が活用しやすい企業版ふるさと納税人材派遣型のモデルを作り、産官学連携でイノベーションを生み出し地域課題を解決する		4. 関連するゴール



5. 事業概要

空き家・空きスペースなどを活用した拠点を整備し、拠点到地域とまち・ひと・しごとのつなぎ役となるマネージャーを派遣する。拠点では創業支援を行うとともに、ICT遠隔学習による人材育成やリモートワーク/ワーケーションなどの相談を行い、ICTの活用と地域の課題を掛け合わせ、時代に合った地域づくりに資する。

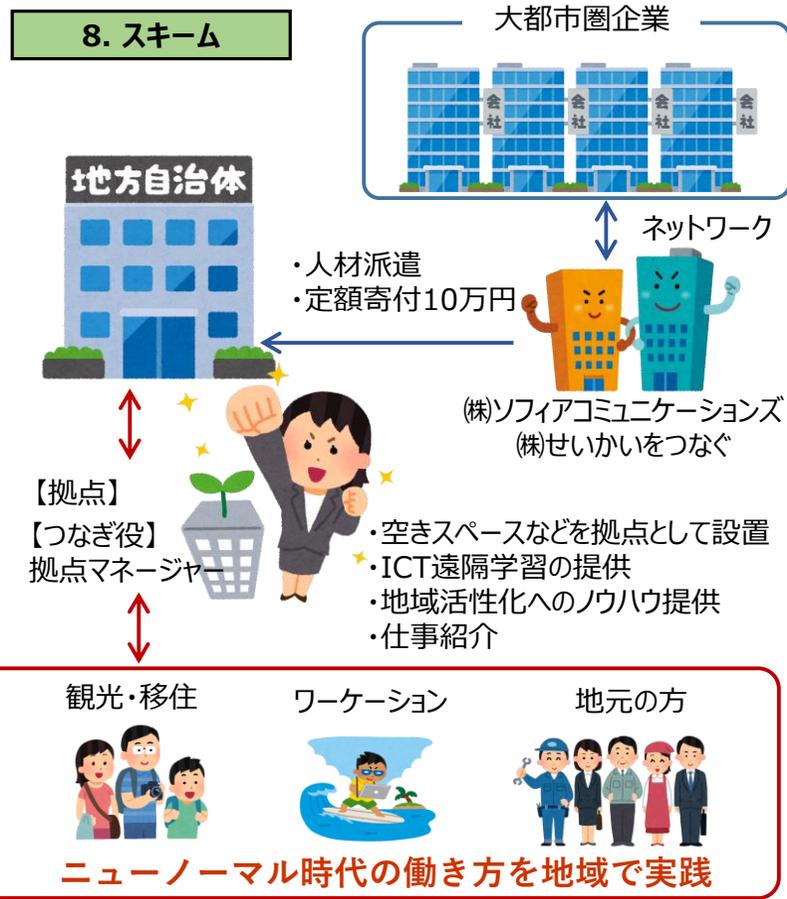
6. 具体的な取組

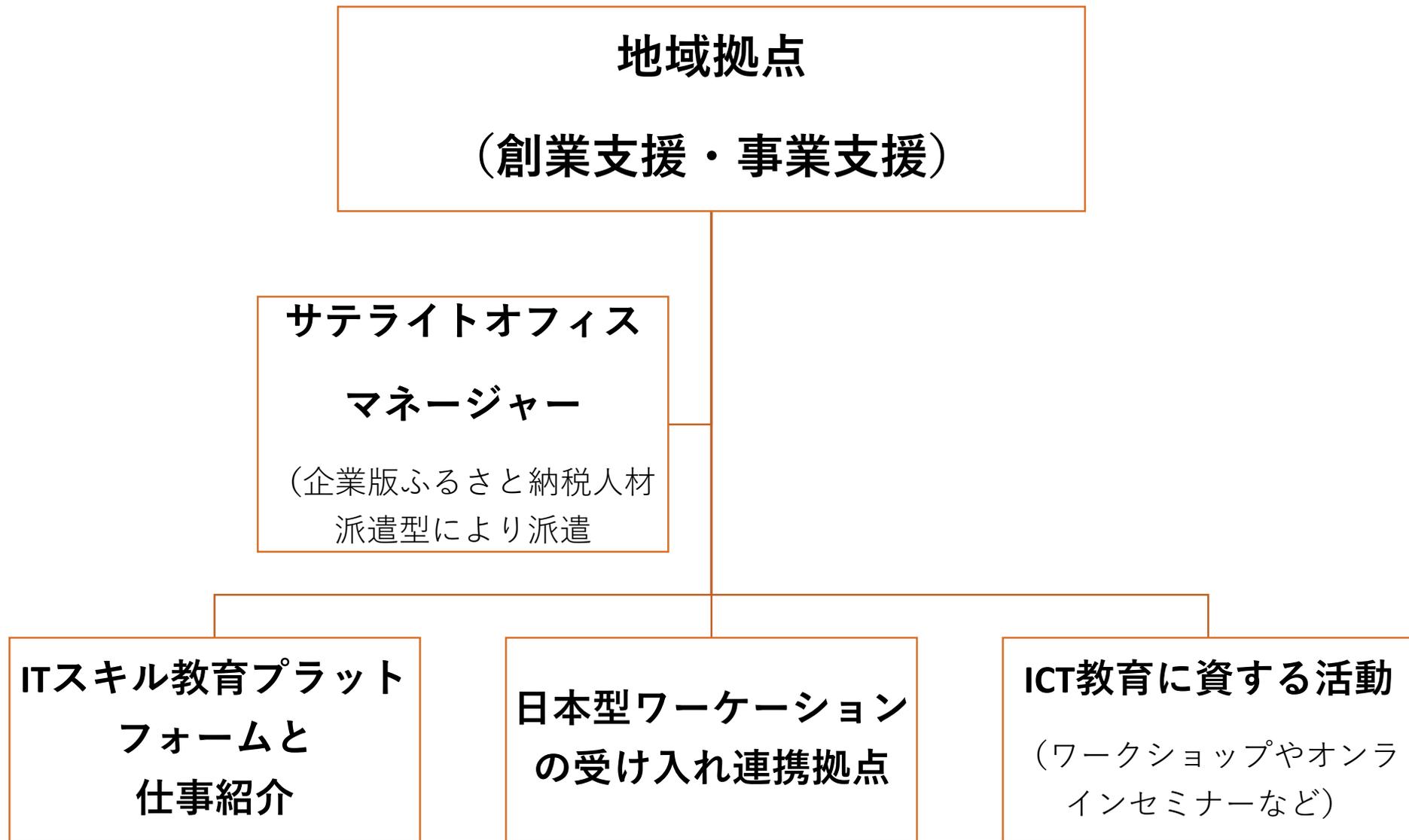
- **安価で実用的な「拠点整備」**：空き家・空きスペースなど使われていない資産の活用とWi-Fiを整備し、必要最低限の小規模の拠点を設置。来訪者と地域とのつなぎ役となるマネージャーを企業版ふるさと納税人材派遣型で派遣。
- **日本型ワーケーションスタイルの「観光」**：ワーケーションで来訪する人々を地域とのふれあいにより、関係人口として育てるしくみづくり。拠点でのマネージャーがその役割を担う。施設や設備だけではない関係人口作りのノウハウを提供する。
- **ICT遠隔学習の推進に資する「教育」**：ICTスキルトレーニングをオンラインで実施し、リモートで就業可能な仕事を紹介。将来的にはトレーニングを受けた人々がGIGAスクールサポーターとして活躍することも視野に入れた活動を行う。パソコンの貸出も可能。
- **地域資源を活用する「ノウハウの提供」**：大学と地方行政の連携では地域活性化への学術的提言やセミナーの開催、大都市圏企業と地方企業や人材の連携では、観光資源の商品開発などのノウハウを提供。起業・創業のノウハウも伝える。

7. 事業効果

- ①人口流出の防止：高度なIT人材が成長することでリモートで可能な仕事が増え、仕事と雇用の維持・創出につながる。これにより地元を離れずに就業できる機会が増え、人口流出を防ぐことができる。
- ②ワークライフバランス/女性活躍の機会創出
- ③移住定住促進：高度なIT人材が増え、リモートワーク環境が整うことで、地方の新しい価値が生まれ、大都市圏からの移住促進につながる。
- ④新しい観光スタイル：ワーケーションの促進。
- ⑤地域産業促進：大学や大都市圏の企業との連携によりイノベーションの機会創出。

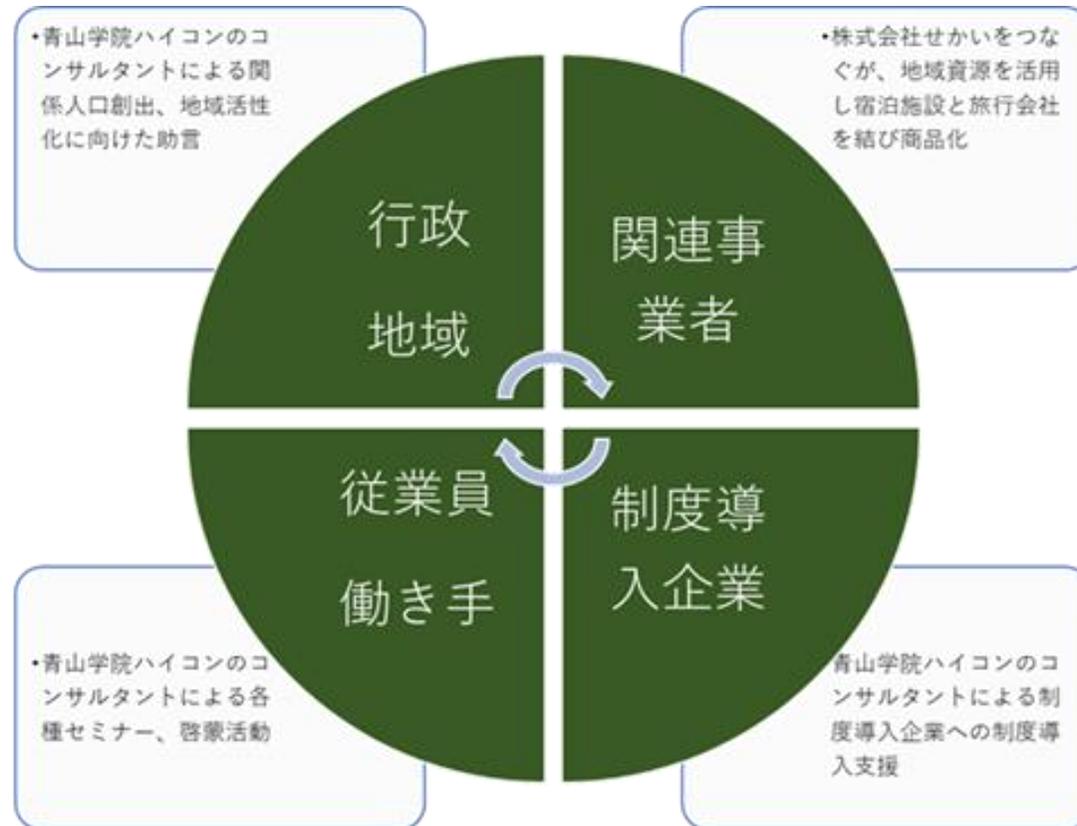
8. スキーム





企業版ふるさと納税により拠点整備の資金を賄う (Wi-Fiの整備など)
企業版ふるさと納税人材派遣型によりノウハウを持ったマネージャーを拠点に派遣

産学連携による 地域資源活用と関係人口の創出



青山学院ヒューマン・イノベーション・コンサルティング株式会社の
パートナーコンサルタントが産学連携によるノウハウを提供します

■はじめに

- 以下のような事業をお考えの自治体様に対して、企業版ふるさと納税を検討したいと考えています。
デジタル化、人材育成支援、移住定住・推進支援、創業地等支援、スポーツ振興支援、文化振興支援
- 弊社は、**関係人口創出に関わるサービス**をご提供しています。ご縁を賜りましたら、地域における人材利活用のアイデアもぜひ一緒に考えたいです。
- 地域の中小企業様や自治体様にとって、**都心部在住の経験ある人材を「無償で」**呼び込むこともできます

Create a new work culture

人生100年時代の新しい仕事文化の創生のために

エッセンスでは雇用に依らない知見・経験の流動化を実現するパートナーとして、「プロパートナーズ」、「他社留学」、「プロボノ」、「リクルーティング」を中心に、多彩な新しい働き方、人材活用方法を提供しています。

リクルーティング事業
ヘッドハンティング・人材紹介

社員の
採用

プロパートナーズ事業
プロフェッショナルによる
経営支援サービス

プロの
活用

プラットフォーム事業
プロボノ、業務委託、
転職の3種のWEBマッチング

採用の
多様化

他社留学事業
大手社員をベンチャー「留学」
他社留学サービス

社員の
活性化

プロボノプログラム事業
他社就業
「体験・トライアル」サービス

社員の
自律化

新しい仕事文化をつくる

社外人材のシェアリングプラットフォームサービス



- 社名：エッセンス株式会社
- 事業内容：
 - ・プロパートナーズ（プロフェッショナルの紹介）
 - ・リクルーティング（人材紹介及びヘッドハンティング）
 - ・他社留学（越境型研修サービス）
 - ・プロボノ（放課後社外体験プログラム）
 - ・CAREER FLIGHT（新しい働き方実現プラットフォーム）
- HP：<https://www.essence.ne.jp/>
- 連絡先：
 - TEL：03-6661-7747（代表）
 - FAX：03-6661-7746
 - E-mail：mk@essence.ne.jp
- 所在地：
 - 東京都中央区日本橋蛸殻町1-11-1 人形町シティプラザ5F

Create a new work culture

人生100年時代の新しい仕事文化の創生のために

エッセンスでは雇用には依らない知見・経験の流動化を実現するパートナーとして、「プロパートナーズ」、「他社留学」、「プロボノ」、「リクルーティング」を中心に、多彩な新しい働き方、人材活用方法を提供しています。



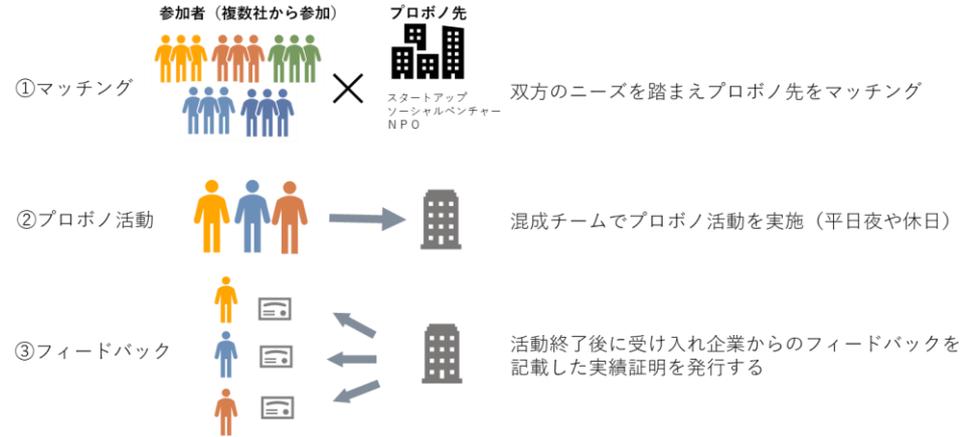
プロボノプログラム事業
他社就業
「体験・トライアル」サービス

社員の
自律化

大企業社員が放課後活動として地方
企業やソーシャルベンチャーでプロ
ボノを行うプログラムを定期開催



▼プログラムの進行イメージ



▼プロボノで得られるメリット

個人

- ・ 社会貢献
- ・ 自身への客観視点の獲得
- ・ 異環境での腕試し
- ・ 人脈の拡大

受け手企業

- ・ 無料での人材参画
- ・ 社内の活性化
- ・ ノウハウ・知見の獲得
- ・ 客観視点による課題の可視化

通常ではありえない「個人×企業」の出会いが実現



▼2021年2月開催分ラインナップ

- ・ 過去最大人数となる8社75名以上が参加
- ・ 受け入れ側も過去最高の13社が参画
- ・ 参加企業の目的も多様
 - 若手層の社外でのイノベーション活動（事業立ち上げ・推進経験）
 - シニア層のセカンドキャリア開発のための腕試し活動
 - 社会課題解決を目指すソーシャルベンチャーでのSDGsの実践体験
 - 地方の活性化への参画 など
- ・ 受け入れ企業も多彩
 - 山口県の酒造や奄美市のタンカン農家など地方企業
 - DX推進や総務変革を目指すスタートアップ企業
 - 旅行会社や海外インターン支援企業など事業変革が必要とされる企業 など
- ・ コロナ禍を受けプログラムはすべてオンラインにて実施

■プロボノ参加元企業

- ・ 大手放送局
- ・ 大手商社
- ・ 大手日用品メーカー
- ・ 大手繊維メーカー
- ・ 大手不動産 等

■受け入れ企業（一例）

- ・ 海外インターン支援企業
- ・ EV積載の蓄電システム開発企業
- ・ 海外ハネムーン（石川県）
- ・ 総務向けクラウドサービス企業
- ・ 創業400年酒造メーカー（山口）
- ・ DXスタートアップ
- ・ 玩具メーカー（愛知）
- ・ 東南アジア地域の起業家支援団体
- ・ タンカン農家（鹿児島奄美市）等

分科会概要

名称：地方創生SDGsデジタルワークファクトリー推進プロジェクト分科会
<https://www.sdgsdigitalwork.net/>

分科会参加メンバー：18会員（企業14／自治体4） ※2021年1月31日時点

分科会設立申請者：スマートワーク株式会社（代表取締役 吉田徹）

推進内容：
①デジタルワーク人材育成（教育研修）
②クラウドソーシング型就業機会創出（スマートワーク）
③地域事業者のデジタル化推進（地域産業振興）
④ワーケーション推進／移住・定住促進
⑤地方と大都市圏のデジタルワーカー交流促進
⑥Education & Workスペース（施設）企画・運営支援
⑦デジタルワーカーサポート（相談窓口、福利厚生など）

活動内容：上記推進内容を実現するために必要な分科会活動

- ①地方（地域）のニーズ調査&シーズ創出
- ②対象自治体への企画提案
- ③地域金融機関との連携（共催セミナー等）
- ④テーマに沿った各種セミナー及び相談会の開催

地方に仕事をつくる

地域をブランド化する

デジタル人材を育てる 地域の産業を発展させる

移住のきっかけをつくる

地方創生SDGs

子育て世代を応援する

地域の魅力を発信する

働く環境を整備する

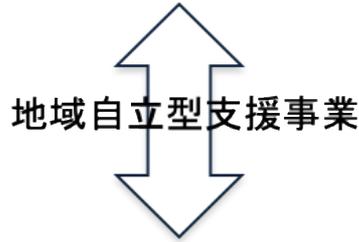
自立した活動を可能にする

上記を最新デジタル活用で実現する！

デジタルワークファクトリー推進プロジェクトとは？

①テレワーク実践支援

Wix実践講座／スマパノ実践講座



②地域企業支援

デジタルマーケティング関連セミナー
DMA顧問化(個別相談対応)



就業創出



地方創生プログラム

産業振興／観光振興／教育振興事業

定住・移住促進事業



地方創生SDGs実現①：デジタル活用型の就業創出&産業振興の両立

地方創生SDGs実現②：デジタル活用型の移住・定住促進(ワーケーション推進)

地方創生SDGs実現③：デジタル活用型の子育て支援(女性活躍支援)

デジタルワークファクトリー推進プロジェクト事業化

企業版ふるさと納税等に関して

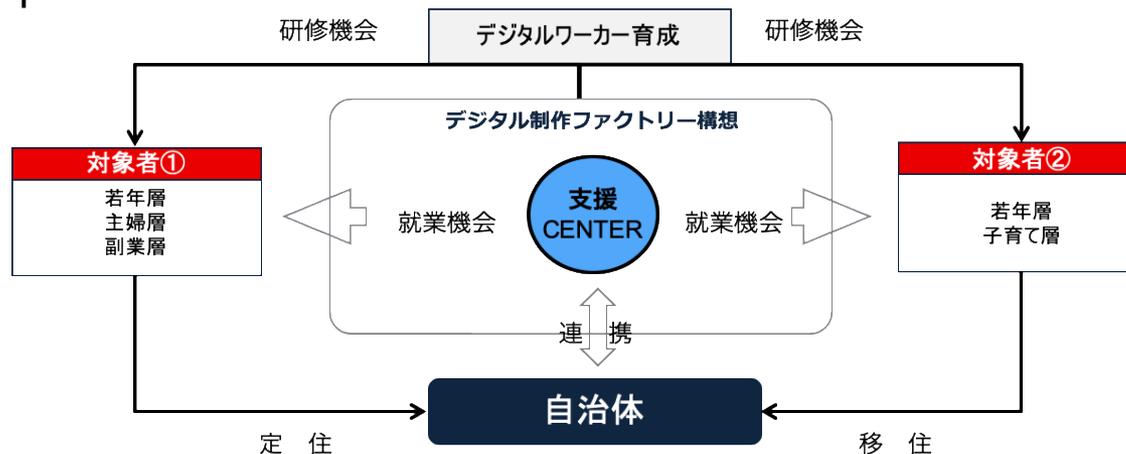
当該デジタルワークファクトリー推進PJの共同事業化を検討及び実施していただける自治体へ以下の協力を行います。

1: 当社並びに当分科会メンバー企業の企業版ふるさと納税制度の活用

1-1: 当社並びに当分科会メンバー企業からの寄付

1-2: 当社並びに当分科会メンバー企業の取引先企業などから寄せられた寄付などを当社並びに当分科会メンバー企業を通じて寄付

2: 当分科会への参加による情報共有や課題解決、企画提案等、地方創生SDGs事業の具体的な実現のサポート



<https://www.sdgsdigitalwork.net/>

2021年2月25日

地方創生SDGs官民連携プラットフォーム・第11回企業版ふるさと納税分科会

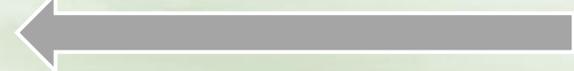
「企業と地方公共団体とのマッチング会」

**SDGs 誓いの「地球上の誰一人取り残さない」持続可能な
ITバイオマスプラスチック骨壺循環公園基地を中心とした都市
企業版ふるさと納税・グリーンボンド都市**

一般社団法人国際バイオマスセンター

新型コロナウイルスとSDGsとバイオマスプラスチック・ゼロ・ウェイスティング

CO₂



CO₂ 排出 (+)



バイオマスエネルギー



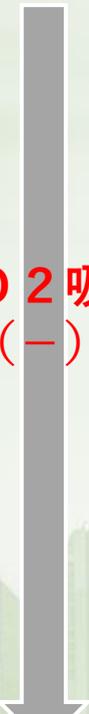
焼却場

バイオマスプラスチック製品の廃棄物



生ゴミ・紙ゴミ・バイオマスプラスチック等の可燃ゴミ

CO₂ 吸収 (-)



SDGs 誓いの「地球上の誰一人取り残さない」持続可能なITバイオマスプラスチック骨壺循環公園基地を中心とした都市

マイナンバーカードとITバイオマスプラスチック骨壺相関

バイオマスプラスチックリサイクル

バイオマスプラスチック製品

光合成



バイオマス素材から芳香族モノマーの生産

バイオマスプラスチック原材料

再生可能エネルギー

バイオマスプラスチック 資源循環アクション宣言

—SDGsのバイオマスプラスチック資源の循環・見える化への取り組み—

当社は、プラスチックが、地球と人類を包み込む中で放出されていく影響を懸念することを踏まえ、未来に向けて、このままでは地球が住み続けられないという危機感を持って、生物由来のプラスチックの活用を推進し、自然に帰るバイオマスプラスチックの開発・普及を推進します。

持続可能な開発目標 (SDGs) 3. バイオマスプラスチックの Reduce (リデュース)
 2. バイオマスプラスチックの Reuse (リユース)
 3. バイオマスプラスチックの Recycle (リサイクル)

食品容器等については食品と接触する部分についてはSDGsと、トキシシティを低減してまいります。目標としては、バイオマスプラスチックの原料となる植物のバイオマス資源の活用を推進し、廃棄物を減らすことに加え、その際に最終製品として、トキシシティが低減し、見える化を推進します。

植物由来の生分解性プラスチックの素材販売中
モドリーナ™シリーズ

種類	厚さ	長さ	幅	重量	強度	特徴	用途
生分解性プラスチック	0.2mm	100mm	100mm	0.05g	10N	生分解性	容器
生分解性プラスチック	0.5mm	100mm	100mm	0.15g	10N	生分解性	容器
生分解性プラスチック	1.0mm	100mm	100mm	0.30g	10N	生分解性	容器
生分解性プラスチック	2.0mm	100mm	100mm	0.60g	10N	生分解性	容器

植物由来の高機能スーパーエンブレ材料開発中

【本製品】は高機能材料に加工し、製造して提供いたします。そのほかの用途も検討中であり、今後の開発により、様々な用途での活用を期待しております。詳しくは弊社ウェブサイト「バイオマスプラスチック」をご覧ください。また、お問い合わせは「お問い合わせ」からお願いいたします。

ITバイオマスプラスチック骨壺は、はプラスチックなので骨壺にucodeチップを埋め込むことによりマナンバーとコードで関連付けられます。それにより「誰一人取り残さない」持続可能な社会を創り出す。

「ucode」（ユーコード）とは、現実の世界にある、あらゆる物、あるいは場所に対して割り当てる、国際標準規格の識別用番号（識別子）です。2012年6月、ITU（国際電気通信連合）において「H.642.1」という国際標準規格に採用されました。

従来の陶器骨壺は、ucodeチップを埋め込む事が難しく又、CO₂排出や分解しませんので公園墓地では持続が困難。

バイオマスプラスチック骨壺は、生分解性なのでお骨と一緒に分解しますので公園墓地を持続させる事が可能。

又、最近ではコロナ等（孤独死）でお墓がなく、手元に置いておくことも無理なのか、遺骨を意図的に公共施設などに置いたまま立ち去り、遺失物にする人たちが増えている。

ペットのマイクロチップ装着の様に人間には無理と思われるがITバイオマスプラスチックは可能です。個人情報、コードのみの関連ですので個人情報は洩れません。個人情報は、自治体や政府で管理されます。死後の管理は政府や自治体にとって重要と考えております。

ITバイオマスプラスチック骨壺は植物から生産された生分解性プラスチックですのでCO₂削減やゼロカーボンニュートラルになります。

バイオマスプラスチックCO₂削減 公園墓地都市をご提案することによりバイオマスプラスチックの使用量が増える事により自治体に対し投資として寄付したい。

バイオマスプラスチックの関連会社がCO₂排出権取引に替わる企業版ふるさと納税に投資として寄付して行きたい企業も集めて行きたい。

この様な仕組みをゴミ焼却場でも展開できるのでは？

スタートは、企業版ふるさと納税で地方自治体指定バイオマスプラスチックゴミ袋購入から？

持続可能な都市をバイオマスプラスチックで企業版ふるさと納税で増やすことでグリーンbond開発投資も増やせるのでは？

最終的に大企業・中小企業問わずCO₂削減に企業版ふるさと納税で貢献できるのでは？

環境省は、**2030**年までにバイオマスプラスチックを約**200**万トン導入を目標に大企業中心に進めているが自治体や中小企業までは行っていませんが企業版ふるさと納税を使用すれば可能では？

企業版ふるさと納税でCO₂削減の為のバイオマスプラスチック製品を自治体が購入してバイオマスプラスチック都市を？

参考までに

バイオプラスチック導入ロードマップ

http://www.env.go.jp/recycle/post_58.html

アグリサイエンスバレー（茨城県常総市）



常総市アグリサイエンスバレー事業完成予想図

農業6次産業化を軸に地域社会の未来づくりに挑戦

農業振興や地域創生が大きな課題となっている中、戸田建設が茨城県常総市との官民連携で参画したのが、農業6次産業化を軸とした地域社会の未来づくり「アグリサイエンスバレー」構想です。

常総IC周辺に、高生産性の「農地エリア」と、加工・流通・販売が連動する「都市エリア」を集積することで、生産（第1次産業）・加工（第2次産業）・流通・販売（第3次産業）が一体となった地域農業の核となる産業団地（6次産業）を形成し、市の基幹産業である農業を活性化するためのまちづくりを目指します。

大規模施設園芸ゾーン

水田から畑地への転換を図り、農地の集約・大区画化を行うことで、収益性の高い作物による大規模施設園芸を展開します。

企業立地ゾーン

農地エリアを含む市内外の農産物の加工・流通を行う産業・物流系の企業誘致を図ります。税込面での効果も期待されます。

道の駅・民間集客施設

市内外の農産物の加工・販売機能を担う道の駅・直売所などを整備し、常総市内外からの集客と地域全体への波及を目指します。

観光農園ゾーン

アグリサイエンスバレーの農業体験型施設として、幅広い年齢層に楽しんでもらえる観光農園を整備する予定です。



アグリサイエンスバレー実現に向けた戸田建設の取り組み

PPP（Public Private Partnership）と呼ばれる官民連携事業で進める本事業では、戸田建設は事業協力者として、2014年から構想に参画しています。常総市での新たなまちづくりにあたり、地域、自治体、企業が融合し、持続的な発展を支える産業を組み込む仕組みをつくり、事業全体のマネジメントを推進していきます。



企業版ふるさと納税

常総市の産業振興・交流人口拡大に向けた地域交流事業を実施する為、地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）を活用する予定です。

土地区画整理事業の業務代行

当社の土地区画整理事業の取り組みは、国内トップクラスの実績があります。本事業においても、事業資金を当社が先行投資することで、地域や自治体の経済的な負担を考慮しながら遂行し、建築・投資開発事業へと展開していきます。

企業誘致

県、組合、行政、民間企業等、様々なステークホルダーと協働しながら、企業立地ゾーン、民間集客施設といった都市エリアへの企業誘致活動を牽引しています。

民間集客施設

道の駅に隣接するエリアに、地域のにぎわいを創出する民間集客施設を、当社が整備予定です。

また、2020年10月には、常総市と道の駅の指定管理予定者（㈱TTC）と3者覚書を締結し、アグリサイエンスバレーを拠点とした新たな地域社会づくりの実現を目指します。

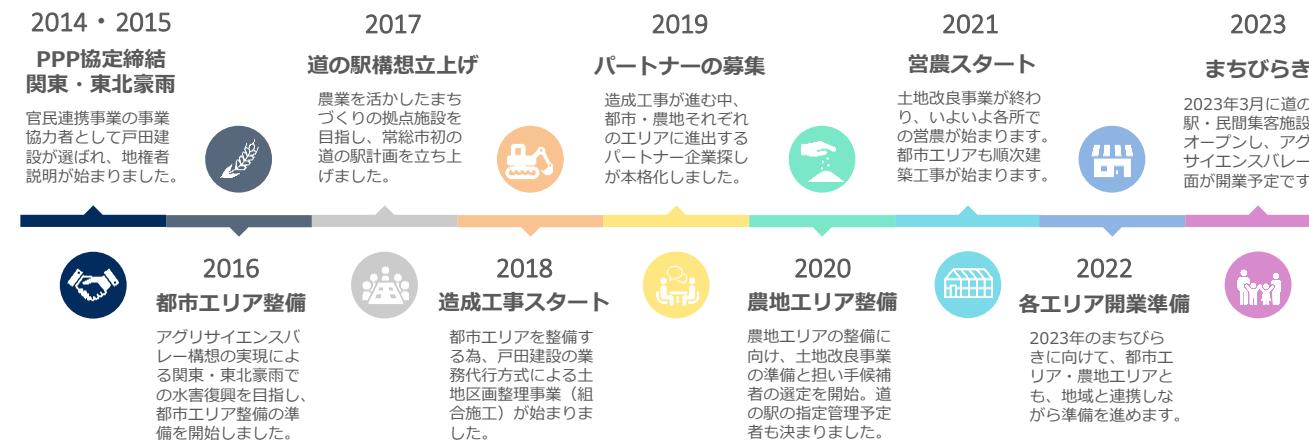
TODA農房でのIoT施設園芸の実証・実践



当社が常総市で農業6次産業化を推進するにあたり、施設園芸の実証研究施設「TODA農房」を市内に建設しました。IoTを活用したいちごの栽培と、地域と連携した6次産業化に取り組むことで、地域の方々へ新しい食農産業の提供をしています。また、当社が農業と向き合うことで、ステークホルダーとなり得る企業とパートナー関係を結び、民間活力を集めながら事業を進めています。

TODA農房では、農産物の安全性確保や環境保全に関する国際規格「ASIAGAP」の第三者認証を取得し、持続可能な農業経営を実践しています。

事業計画立上げから、2023年のまちびらきまで





地方連携型ワーケーション

ON/OFFice ZUSHI（神奈川県逗子市）

地域一体で地域創生・働き方改革を促進するワーケーション事業モデルの検証

「働き方改革」が広く認知されるにつれ、働く人の意識は大きく変化しており、多様性と柔軟性に対するニーズは増大しています。リゾート地などで仕事・休暇を行う「ワーケーション(workation)」は、ワーク(work)とバケーション(vacation)を組み合わせた造語として急速に知名度を上げる中、戸田建設は「産官民連携」でのワーケーションという新しい事業の在り方に取り組んでいます。



不動産投資開発のノウハウ活用： ワーケーション事業を通じた 地域への新たな価値提供

2020年7月、同社は神奈川県逗子市と共同で、ワーケーションの実証実験を開始しました。逗子市所有の遊休不動産の一部を、ワーケーション施設「ON/OFFice ZUSHI」として運営し、地元商店街、レジャー事業者などと連携し、地域一体で作り上げる事業モデルの確立を目指します。

本施設は逗子海岸近くに位置し、いつもの作業・ミーティング・研修などにご利用いただくのはもちろんのこと、地元の食事や観光といったバケーション要素を取り入れることで、「旅先で仕事する」という新しい働き方を体験いただけます。

お問い合わせ先：戸田建設株式会社

戦略事業推進室

新事業プロジェクト推進部

MAIL: workation_m@toda.co.jp

HP: <https://www.todaonoffice.com/>



地方創生SDGs
官民連携
プラットフォーム



私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

地方創生SDGs



GALE 2030



企業版ふるさと納税 プレゼン資料

モバイルソリューション株式会社
2021年2月25日

モバイルソリューション株式会社の紹介

地方創生SDGs官民連携プラットフォーム分科会活動

◆ 地方創生の為の地域エネルギービジネスの創出

- ⇒地域エネルギービジネス創出
(新電力/再生可能エネルギー発電所の提案)
- ⇒地方への電化の推進
(電気自動車の推進)
- ⇒レジリエンス対応の推進

◆ 海外自治体との連携及び海外人材の活用

- ⇒海外自治体との連携
(ベトナム/フィリピンなどの地方都市との連携)
- ⇒海外人材の活用とスキルのアップ
(特定技能実習生の活用)

◆ 小型EVトラック



カラー：ホワイト

形状呼称：トラック

◆ 太陽光付きカーポート



企業版ふるさと納税の活用と協力体制

弊社の進める分科会と寄付への協力

◆ 地方創生の為の地域エネルギービジネスの創出

⇒ 地域エネルギービジネス創出
⇒ 地方への電化の推進
⇒ レジリエンス対応の推進

上記の課題に関する計画への提案・寄付・寄付募集のお手伝いをご提案させていただきます。

◆ DX(デジタル・トランスフォーメーション)ツールの提供

⇒ DX構築ツール(Contineo NX)の提供
⇒ ローカル通信(ローカル5G、Wi-SUN)の提供
【活用範囲】

- ・ スマート農林水産
- ・ スマートシティ
- ・ スマートモビリティ など

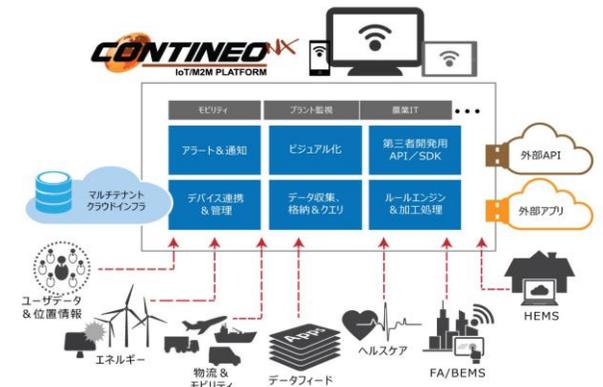
◆ 燃料電池バス「そら」



《 レジリエンス対応 》

災害時は燃料電池バスを派遣する。
(電源供給能力は出力9kW、容量235kWh。)

◆ Contineo NX



★企業版ふるさと納税を活用し、この事業で連携したい★

オンライン住民づくり



地元の電子化された
回覧板・掲示板の提供

かつてコミュニティの住民だった人たちや、
これから住民になる人たちのために、
親や友人の住むエリア・これからの生活エリアの
魅力やニーズ(困りごと)、状況を認識したり
関心を持続させる

誰もが地域の中であたたかくつながり 互助が循環する社会へ



ミッション

地域情報インフラを共創して実現する



www.tamemap.net

取り組みの背景



結婚出産を機に引っ越し
近所に知り合いがいない

地域内
コミュニティ
希薄化



仕事で地元から離れ
近所に知り合いがいない

地域の人とゆるくつながれる場はたくさんあるが・・・



居場所やゆるいつながりがある
皆で子どもを育てるコミュニティ

情報が埋もれていて、地域で人がつなげれない

参加者

- ・スマホで探す
- ・検索しても出てこない



つなげれない



イベント主催者

- ・図書館や公民館のラック
- ・ネットでも発信



地域活動の存在を知らない人：**7割**

(神戸市長田区 住民アンケートより)

Home | 遊び場・仲間づくり | 子どもを預ける | 行政サービス | 医療・健康

新着情報

- 2020/09/10 在宅ワーク実践講座「スタートアップ」
- 2020/09/09 新型コロナウイルス感染症を理けた差別や偏見などについて
- 2020/09/09 新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見の防止に向けて
- 2020/09/09 新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見の防止に向けて

児童館

いつも子どもたちの元気の源。区内には10の市立児童館が。あなたもお近くの児童館には

- ▶ 東灘区社会福祉
- ▶ 御影北児童館
- ▶ 満森台児童館
- ▶ 浜御影児童館
- ▶ 住之江児童館
- ▶ 本山児童館
- ▶ 本山東児童館
- ▶ 田中児童館

御影北児童館

住所 御影2-20-10
問い合わせ先 078-842-6118
URL <http://www.eonet.ne.jp/~mikagekita/>

近所で出会えない事による機会損失

子育て世代と
子育て支援者

外国人住民と
町内会役員

移住者と
元の住民



起業者や商店街と
消費で応援する住民

要支援者と
専門職支援者

被災者と
災害時支援者

行政：職員負担・財政負担の軽減

住民：子どもの成長 育児負担 健康寿命 生きがい など

近所だけでなく、遠くの人ともつながりが持てない

- 地元に戻る着地点への導線がない

- **かつての住民がコミュニティを振り返れない**

親の生活エリアの困りごとや状況を認識できず、関心を持続させられない。

- **高校生は卒業したら戻って来ない**

地域への関わりがなく、地域の多様な情報を知らないまま、「何もないところだったよ」と言ってしまう。

解決策：地域の小さな「今とこれから」を電子化して配信

カンガルーサロン
ママもだれかとしゃべりたいな... ママ友達ほしいな... そんなママたちあつまれ！ いっしょに子育てを楽しみましょう♡

夏祭り
認定こども園 みそのうこぼとの森
もがあります。 御園宇信和金踊り 同好会の方による 伝統ある金踊り 先生たちも観るぞ！

子育てサークル なごみくらぶ
2019
活動場所：御蔵小学校3階クラブハウス
対象年齢：0歳～就学前の子どもと保護者
時間：10:00～11:30まで

4月15日	10月7日
5月20日	11月18日
6月3日	12月9日クリスマス
☆7月22日	フール 1月27日
☆8月5日	フール 2月3日
9月2日	3月2日

離乳食セミナー
菅原保育所
(長田区菅原通1-72-1)
2019年10月10日(木)
13:30～15:00

- 対象：1歳までのお子様とその保護者 またはプレババ・プレママ
- 募集人数：10組 (応募多数の場合は抽選)
- 参加費：無料
- 申込み方法：9月1日より受け付け開始 電話またはメールで下記まで必ず連絡先を明記して下さい *10月1日(火)申込み締め切り!

地域子育て応援プラザ長田 (長田区役所5階)
直通：TEL 579-6581 FAX 579-6582
E: plaza_nagata@office.city.kobe.lg.jp



『投稿』：近所情報を1分で投稿

Step1

撮る



Step2

イベント情報入力



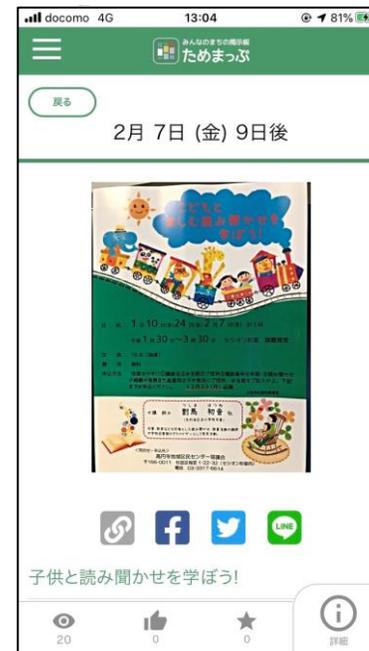
開催日や場所情報、

カテゴリーを選択



Step3

公開



『閲覧』：移動可能範囲 x 時系列



指定距離赤円内の
活動情報を
時系列表示



特許取得済み
(第6293100号)



子育て情報テーマ 神戸市長田区 導入成果

サービス導入4か月後

2018.8~

参加者数

1.5倍

実地アンケート23回 n=137人

サービス満足度

98%



継続利用1年後

● 利用状況

- 延べ閲覧回数 10万PV
- 累計利用者数 5,800人
- 対象人口(乳幼児の親)の利用率推計 90%

● お母さんの声：

- 切羽詰まった時でも「**かけこめる場所が見つかった**」
- 「**このサービスのない地域には引っ越したくない**」

● シニアの支援団体の活気向上

- 区外からの参加者増 → 移動滞在・関係人口
- 商店街への新規客が3割増



利用者の声
(動画・約4分)

地図で地域にフォーカスして住民の関係しろづくり

20代から80代まで多様な住民 36名
「ためまっぷ」をどう利用するかをワーク
1時間半、全員Zoomオンライン
福山市 NPOひとまちスタジオ



分厚い地域史ではなく
一人一人が語る歴史

- 住民による地図作り
 - ・地域史の語り部動画のマッピング
 - ・ダンゴムシがめちゃ取れるマップ (→実施)
 - ・移住メンターマップ (→実施)
 - ・釣り場や景観の穴場マップ (→実施)
- 地域課題の共有と住民の解決
 - ・住民による草刈りから、側溝のかき出しマップへ (→実施)

これらを考え、知ることが
地域と向き合うきっかけ



ためまっぷの社会実装は、シティプロモーションに通じる

「ためまっぷ」は、「本来」の
シティプロモーションを実現する道具となる



河井 孝仁 教授
東海大学文化社会学部広報メディア学科教授
公共コミュニケーション学会会長理事

[詳細を読む](#)

「より暮らしに合った現実的なサービス」。
「ためまっぷ」は、その本命かもしれない。

佐藤 忠文 先生
九州産業大学地域共創学部地域づくり学科講師
公共コミュニケーション学会理事



[詳細を読む](#)

● シビックプライドから関係人口を実現する

- 「人」の魅力を高める
 - …コミュニティの「人」がお互いを高め合う
- 外の人に響く

● 地元に帰る予備軍の醸成

- かつてコミュニティに身近だった人たちに親の生活エリアで困りごとや状況を認識したり関心を持続させる
- 高校生が企画するイベントを掲載するサイト教育委員会で実施
 - 大学に行っても地域を顧み関わり続け、戻れる着地点への導線

実績事例 抜粋

名取市市政情報課 & なとりの魅力創生課

行き場を探している地域住民と行政

品川区地域活動課

地域活動に参加したい人と地域活動者

神戸市長田区まちづくり課

子育て世代と子育て支援者

富谷市産業観光課

関係人口・移住者と住民

安芸郡府中町社会福祉協議会

要支援者と専門職支援者

東広島市御園宇自治協議会

地域住民と自治会役員

豊橋市多文化共生・国際交流課

外国人住民と支援者

日常－災害－日常まで

被災者と災害時支援者

「ここで生きててよかった」
誰もがそう思える社会へ



みんなのまちの掲示板

ためまっぷ



www.tamemap.net

目次 →



ためま株式会社

メール: info@tamemap.net

オフィス所在地:

〒730-0802 広島市中区本川町3-1-5 ポートインク内
 〒650-0035 神戸市中央区浪花町56 起業プラザひょうご内
 〒981-3311 宮城県富谷市富谷新町95番地 TOMI+内

団体概要

- 2014年 5月 創業 (合同会社)
- 2014年12月 クラウドファンディング実施・目標額達成
- 2015年 2月 広島クリエイティブミーティング オーディエンス賞を受賞
- 2015年10月 ひろしまIT総合展2015 アプリアイデアコンテスト最優秀賞を受賞
- 2016年 8月 国交省「道の駅」初公式アプリに技術担当で参画
- 2017年 1月 自衛隊向け緊急登庁育児支援システムを受注・開発
- 2017年 2月 西京銀行ビジネスプランコンテスト 藍澤証券賞を受賞
- 2017年 3月 広島県知事賞・県民活動表彰を受賞
- 2017年10月 Hibisインターネットフォーラム 中国通信局長賞 最優秀賞を受賞
- 2018年 3月 総務省 地域力創造アドバイザー認定
- 2018年 3月 イベント情報管理 特許取得 (特許第6293100号)
- 2018年 7月 Urban Innovation KOBE 採択・神戸市長田区との協働実証開始
- 2019年 6月 総務省「情報通信月間」中国総合通信局長表彰を受賞
- 2019年10月 山口レポリューションナリーズseason 2 最終ピッチ採択
- 2020年 1月 広島県アクセラレータープログラム 大賞を受賞
- 2020年 4月 第28回中国地域ニュービジネス大賞優秀賞 受賞

メインスタッフ



CEO
清水 義弘



COO
コミュニティ・プランナー
元木 昭宏



西本 卓也 CTO 開発統括・博士



和田 菜水子 広報担当(元社協職員)
青年版国民栄誉賞「人間力大賞」(JC主催)

横山 ゆかり 中四国営業運営サポート

沖本 恒輝 サーバサイド開発・分析担当
北川 浩也 ユーザサイド開発担当

清水 尚美 デザイナー
山滝 佳子 経営戦略・MBA

協力パートナー

